

八風街道と切畑

八風街道

桑名を起点として梅戸、田光、切畑村を通り八風峠を越え、近江の杠葉尾、政所、佐目、山上、高野を経て、八日市まで伊勢と近江を結ぶ交易路として鎌倉、室町期に盛んに利用され、江戸期においても多くの旅人が通行していた。

切畑村

天保9年(1838) 戸数 13 軒・人別 男 35 人・女 20 人。牛馬 牛 3 匹・馬 7 匹。田 6 町 4 畝 27 歩・畑 5 反 9 畝 26 歩 (村差出帳)。

伎留太神社

牛頭天皇一社、天神社一、山神一。

切畑城

城主 畑与九郎と申し伝う。庄屋大橋又右衛門。

墓地

畠与九郎定正、19代承大橋磋十郎之墓、文化8(1811)7月11日、三昧、火葬場(浄穴)。

墓碑

橋の畔に「南無阿弥陀仏」の墓碑がある。明治13年9月8日、たま17歳。大石の側「南無阿弥陀仏」文久3年大水にて流れる。

檀那寺

切畑村の大橋氏一族の門徒は田光の光泉寺である。

上の茶屋

この所に切畑の村があり、今の集落地へ移ったという。お菊の伝説に出る地名でもある。

石地蔵

①右 山道、左 江州道、文化三酉(丙寅)再調査。高さ50cm×30cm。

②年号記名なし。田光根元記に延宝三年乙卯上の茶屋に地蔵建立」とあり、この地蔵のことなるか。

伊左衛門碑・嘉助の碑

文化十癸酉年正月六日 若者中。両碑とも同じ。

中鳥居

昭和3年御大典記念

坂中の地蔵(八風峠の下)

①元禄十三年七月吉日。

②明和六 己丑十月日供建。

③年号記名なし。

八風大明神

大正4年建立(合祀後の八風神明社跡)

お菊の池

御池ともいう。編笠岳下の登山道の南にあり。

八風大石

現在の八風林道を切畑橋より登り、左側に入った途中にある大石、石上に小祠があり、蛇神を祀る。杉谷、田光、切畑の山境の標石なり。